

産業建設常任委員会

観光客の入込状況と町の産業全般の経済状況

- 令和6年4月から12月までの入込 157万6千812人（前年比100.2%）
- 年末年始のスキー場入込26万7千844人（前年比117.8%）
- スキー場入込別紙11月～1月85万8千270人（前年比129.3%）

ふるさと納税の状況

今年度1月までの件数1万1千643件。前年比マイナス1千623件減。今年度1月までの金額8億7,239万4千70円。前年比4,741万4千236円増。返礼品は感謝券、米等が増加。

冬季除雪事業

- 降雪日数・降雪量28日増 345cm増
- 散布車稼働時間24時間増
- 凍結防止剤購入量30t増
- 町道除雪委託費用7,437万1千円増
- 町道消雪施設電気料1,341万9千円増

- 町道消雪施設修繕工事数、修繕料406万2千円減

主水公園の整備

JR越後湯沢駅周辺の賑わいの創出や多様な世代が交流する暮らしと生活の場の充実。安全・安心な歩行空間整備による回遊性の向上。周辺地区の活性化のための、学校跡地の

活用による魅力向上、防災機能の充実を図る。

湯沢町上下水道耐震化計画

能登半島地震において、上下水道施設の甚大な被害が発生。避難所等に接続する上下水道管や、浄水場や下水処理場などの重要施設での耐震化計画を策定するよう要請を受けた。

中子町有地売却特別委員会

2月5日 第1回

財産の処分

湯沢町は町所有の中子町有地を公募型プロポーザルで売却。産業発展に資する施設整備を目的とし創造的提案を求めた。土地には既存建物があり購入者は1年以内に解体が必要。土壌汚染対策済みで基準値を満たす。提案内容は町産業発展に資する施設整備の整備が求められた。参加資格は日本国内で法人登録している法人に限定。審査基準は価格提案、事業計画、実現可能性、持続可能性、自然環境への配慮。優先交渉権者に(株)サクセスリゾート越後湯沢ホテルが選定された。同社は旺旺グループの

関連会社で同グループの協力を得て事業を実施予定。契約は町議会議決後に本契約。建設投資約76億円、固定資産税収約400万円、雇用70名年間集客25万人を見込む。奨励措置として固定資産税免除等を検討中。

Q 建物解体費と埋設物除去費の金額の算出方法は。
A 積算基準に基づいて算出。

Q 町民のためになる利用の提案はないか。
A 企業誘致として進めてきた。

Q 日本国内で法人登録をしている企業を参加資格とした趣旨は。
A 外資による利益だけを追求することを抑えるため。

2月12日 第2回

旺旺グループは、中子町プロジェクトに対して資金、技術、人材などの全面的なサポートを保障する確約書を提示。岩塚製菓(株)は代表取締役社長名で、(株)サクセスリゾート越後湯沢ホテルが信頼できる企業であると意見書を提出。さらに旺旺グループから派遣された社員2名の在籍証明書も提示された。

Q 決算書の資産に7千円しかない法人に売却するのは。
A サクセスリゾート越後湯沢ホテルは現在事業をしていないが、旺旺グループの支援があることが評価につながった。

Q 委員会の採点は1社しかない。急いで売らなくてもよいのでは。
A 議会にも説明し進めている。基準をクリアしている。

Q マンション建設計画があるが、湯沢町にマンションは要らない。
A 既存のリゾートマンションではなく、居住用のマンションである。

賛成少数 ↓ 否決すべき